

# 一 般 質 問

平成28年12月6日（火）

13番 上 村 賢 議員

## 1. マンホールカードの発行について

①2016年4月より、国土交通省主体の下水道広報プラットフォームが、下水道事業をPRする一環として、デザイン性のあふれるマンホール蓋をコレクション出来る「マンホールカード」の配布を28の自治体と共同して始めた。2016年8月1日には64自治体74種類が発行され、そして12月1日には新たに46自治体46種類が発行される。石狩市もシティセールスのツールの一つとして、マンホールカードを発行すべきと思うが考えを伺う。

## 2. 外国航路船員に対する個人市民税の減免制度について

①平成25年第1回定例会で減免制度について質問が行われた。その時の市長答弁では、勉強させていただきたい、との答弁があった。その後、平成26年4月より、全国で初めて、四日市市が長期外航勤務に従事する船員などを対象に市民税の減免を実施した。石狩湾新港を持つ石狩市も、外航船員に対する個人市民税の減免制度の導入をするべきと思うが考えを伺う。

## 3. STI（性感染症）の啓発について

①平成25年頃から患者が急増している梅毒などの性感染症の予防や早期発見につなげようと、厚生労働省は11月21日、美少女戦士セーラームーンをモデルに起用したポスターを作成した。性行為によって感染する性感染症の啓発は男女双方に行うことが必要だが、厚労省は今回、若い女性を対象を絞って啓発活動を実施している。若い女性が子供の頃ヒロインだったセーラームーンの力を借り、患者が増加しているこの局面を打破したいとコメントしている。これまでに石狩市が行ってきたSTIに対しての啓発活動を伺う。

②厚生労働省は、この啓発活動においてポスター5,000枚を作成したほか、チラシ15万6,000枚、コンドーム5万6,000個を希望する自治体を通じて配布する予定としている。石狩市は今後どのような啓発活動を行う考えがあるのか伺う。

③ここ数年、特に10代後半から30代の女性で梅毒の患者が急増している。未然に防ぐためには、若年者に対し感染症の知識向上、啓発活動を行う事も重要と思える。そこで、学校教育においても今後対策が必要と思われるが考えを伺う。

## 4. 生産年齢人口の対策について

①本年市制施行20周年となったが、この20年間の本市の生産年齢人口の推移を伺う。

②生産年齢人口の減少は、各種産業における人手不足、後継者不足など人材の確保に対し影響を及ぼす。これまでに石狩市はどのような対策を講じてきたのか。また新たな対策も積極的に行うことも必要と考えるが見解を伺う。

③技能実習制度適正化法案と出入国管理及び難民認定法の改正法案が第192回臨時国会で成立の見通しとなり、来年度から新たな制度が始まる見通しとなった。人材不足に悩む介護現場で、外国人の受け入れが広がる見込みとなった。そのことにより、外国人労働者が全国的に増えると思われる。

そこで外国人技能実習制度により、現在、本市に居住している外国人の実態と認識について伺う。また、今後、懸念される労働力不足を補完する上からも、生産年齢人口確保対策として外国人技能実習制度と新設される在留資格「介護」の推進を前向きに行うべきと考えるが見解を伺う。

## 5. 2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致について

- ①野球・ソフトボール競技復活等石狩市推進委員会準備会は、平成27・28年、日本ソフトボール協会へ2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致に向け要請活動を行っているが、活動を行いどのような評価をしているのか伺う。また、ソフトボールが追加種目に正式決定した8月3日以降、野球・ソフトボール競技復活等石狩市推進委員会準備会は合宿誘致に向けどのような計画を立て活動を行っているのか伺う。
- ②現時点で合宿誘致に向けハード面、ソフト面で色々な課題があると思われる。現時点で課題点をどのように認識されているのか伺う。
- ③これまでは、日本代表チームの合宿誘致をターゲットに活動が行われているが、今後他国のソフトボール合宿誘致は考えていないのか伺う。

---

2番 阿部 裕美子 議員

### 1. 結婚新生活支援事業について

- ①経済的な理由で、結婚に踏み出せない若者への支援について

### 2. 高齢者による運転事故を減らす為に

- ①高齢者ドライバー向けの講習会の開催について
- ②ドライブレコーダーを活用した交通事故防止対策について
- ③高齢者の為のASV自動車購入費用助成について
- ④免許証返上した方への特典について

### 3. 視覚障害者の交通安全の為に

- ①市内の点字ブロックの総点検を
- ②音の出る信号機の設置について

### 4. 性的少数者への学校での配慮について

- ①教職員の研修の必要性について
- ②授業などで教える事の必要性について

1. 国民健康保険制度について

- ①平成30年度から制度が変更になり広域化するが、石狩市の国民健康保険税はどのようになるか
- ②広域化後の法定外繰入れについて
- ③申請減免及び窓口負担減免制度の周知について

2. 子どもの医療費助成制度について

- ①子育て支援策の一環として通院費を小学校卒業まで早急に引き上げる考えがないか伺います

3. 除排雪について

- ①通学路になっている準幹線道路の歩道については可能な限り除雪を
- ②市民に寄り添い、親切、丁寧、迅速な除雪を
- ③融雪槽への補助制度の実施を

1. 子どもの未来を応援するまちについて

- ①市政執行方針の第1の重点項目としてあげた子どもの未来を応援するまちは、庁内のあらゆる分野の施策が絡み継続的な取り組みが必要と考えるが、現在の具体的な取り組み状況、課題、効果、今後の取り組みについて伺う。
- ②子どもの権利条例制定についての考えを伺う。

2. 男女共同参画について

- ①第3次の計画期間である5年間で目標は達成されるのか計画の進捗の現状と今後の具体策を伺う。  
また、計画推進のために男女共同参画推進委員会の積極的な参加についての考えを伺う。
- ②本年11月、市役所ホールで開催されたパネル展示の目的、効果、実績について伺う。  
行事として開催することになっているのではないか。PRするには人の配置が欠かせないと考えるがいかがか。

3. 石狩市の観光について

- ①タクシー観光を活かす取り組みとPRについて。
- ②観光地の整備は委託先が行うこと、地域住民が参加して行えること等を考え実施すべきではないか。
- ③わかりやすい看板の設置をすべきではないか。

#### 4. フッ化物応用の危険性について

- ①「健康づくり計画」第3章の6『歯・口腔の健康』、ミッション1『具体的取り組み』に、歯の再石灰化を促すフッ化物として、フッ化物配合歯磨剤の応用の理解を深め利用を促進するとあるが、フッ素はチタン製インプラントに対して腐食が起きるという研究発表があり、新たにフッ素を添加しない歯磨剤も開発されている。このような状況を踏まえ計画から歯磨剤の文言は削除すべきだが考えを伺う。
- ②チタンを腐食させ、ガラスを溶かすフッ化物を子どもの口の中に含ませることは問題であり、集団フッ素洗口を早急に中止すべきだが考えを伺う。

#### 5. 学校整備について

- ①地域の学校を残し継続する考えを持つべきではないか（八幡、石狩小学校について）。
- ②学校統合に関し保護者や地域との合意形成をどの様に図るのか伺う。

#### 6. 自ら学ぶ意欲を育てる教育について

- ①教育行政執行方針に28年度の3つの重点項目があるが、その中の自ら学ぶ意欲を育てる教育についての取り組みの進捗状況、課題、成果について伺う。また、今後の具体的な取り組みについての考えを伺う。

---

### 9番 佐々木 大 介 議員

#### 1. 平成29年度予算編成方針について

- ①事業の重点化・効率化を図るにあたり、今年度はどのような事業の見直しを行ったのか  
また、29年度はどのような事業について検討を行っていくのか
- ②ゼロ予算事業の取組推進について

#### 2. 国民健康保険制度について

- ①国民健康保険制度改革を行う必要性について
- ②都道府県化による北海道と市町村のそれぞれの役割はどのようになるのか
- ③北海道が公表した国保事業費納付金の仮算定結果について
- ④都道府県化にあたり、市が抱える累積赤字はどのように取り扱うのか

#### 3. 東京オリンピックに向けた本市の取り組みについて

- ①市としてどのように関わり、取り組んでいくのか
- ②スポーツ産業の振興に関する市の考えについて
- ③近隣自治体との広域的な取り組みや連携について

#### 4. 大規模集客施設の誘致について

- ①大規模集客施設の立地に関して、事業者から市への問合せやアプローチはあるのか
- ②大規模集客施設の進出に対する市の考え方について
- ③大規模集客施設の誘致に関し、都市計画の変更や空白地域の用途指定の検討を、これまでになされた事があるか。また、今後このような事を検討される考えはあるか

#### 5. 石狩市空家等対策計画について

- ①本計画の策定の目的について
- ②市内空き家の現状について
- ③空き家利活用制度のこれまでの実績と、その評価について
- ④危険空き家等に対する市の対応について
- ⑤民泊の推進について